

アルコール検知器協議会 第6回業務委員会議事録

会議名	アルコール検知器協議会 第6回業務委員会
日時	2018 年 3 月 14 日 15:45~16:45
場所	ドコモシステムズ様 会議室
出席者 (敬称略)	委員長：酒井（中央自動車工業） 常深・柳谷（NISSHAエフアイエス）／坂口（サンコーテクノ）／坂田（タニタ）／高橋（中央自動車工業）／東野（テレニシ）／杉本・彦田・吉田・高木（東海電子）／山本・山内（東洋メーク製作所）／三浦（ネモト・センサエンジニアリング）／安田・請川（パイ・アール）／四方（フィガロ技研）
提示された書類	2017年度第6回業務委員会配付資料

No.	議事内容	ステータス
議題	1 業務委員会 スケジュールの確認 2 アルコール検知器協議会HPへの掲載案件<再確認> 3 白ナンバー(一般企業)への啓蒙<再確認> 4 協会・官公庁との関係強化 5 広報活動 6 ワーキンググループ(WG)の立ち上げについて 7 その他検討事項	
1.	業務委員会 スケジュールの確認 ・4月以降からの委員会については、業務委員会、技術員会ともに年に4回の開催となる。 ・取り組むべき課題については、必要に応じてワーキンググループの立ち上げを実施していく。	
2.	アルコール検知器協議会HPへの掲載案件<再確認> ・全日本交通安全協会様HPとの相互リンクバナー掲載予定 ※一般企業への飲酒運転根絶へ向けての取組みとして、全日本交通安全協会様へ一般企業の講習時に飲酒運転のチェック項目を設け促していただける。 ・マスコットキャラクター「Jバツ君」をHPに配置予定。事務局(松尾様)にて。	
3.	白ナンバー(一般企業)への啓蒙 ・アル法ネットの推進による関係団体とのコネクションの強化を目指す。賛同団体として申請予定。事務局(松尾様)にて。	
4.	協会・官公庁との関係強化 ○日本バス協会、全日本トラック協会、国土交通省に訪問。 ・トラック協会はアルコール検知器の保守が適切に事業者で実施されているかという点に懸念を持っている。今後アルコール検知器の普及、啓蒙のためにはメンテナンス自体に助成金が出るようなところまで落とし込む必要がある。 ・協議会の認知度も向上し、歓迎されているという手ごたえを感じている点、また、第三者委員会への期待がトラック協会様からは強かった点から、トラック協会様と共に広告をしていくこともアピールになるのでは。	
5.	広報活動-イベント参画 ・中国バス協会の出展を通じて貸切バスの安全性評価制度の情報など、鮮度の高い情報が得られると思う。 ・展示の方法を変更するのも方法である。啓発的な意味を込めて事例を交えた展示手法などはどうだろうか。 ・問い合わせをしやすい環境をつくるなどの取組みをした方がいいかもしれない。 ・展示はメーカー別ではなく、ジャンルごとに区分するののも一つの手ではないか。 ・展示会用の備品取扱いについて、都度レンタルではなく必需品は購入する方向で検討する。⇒4月に決議 ・搬入の効率化のため通箱を設けてみてはどうか。⇒どこで入手できるかサンコーテクノ様にご確認いただく。 ・展示会用の展示製品保管について、サンコーテクノ様にてトータル管理して頂かないか。 ・東海電子様の展示品について常に都度送るのではなく、ずっと預けておくことはできないか。⇒問題なし ・アルコール分解時間のシミュレーションを作成してはどうか。⇒東海電子様にて調査をして、サンコーテクノ様へ報告を	

行う。

6. **ワーキンググループの立上げについて**

- ・業務委員会のワーキンググループをやろうとした時に大阪、東京の場所はどこにするか。
⇒大阪、東京共に東海電子で問題ないが、テレビ会議システムではうまく接続ができない可能性がある。

7. **その他**

- ・全日本交通安全協会HPでのJ-BACバナー継続について⇒4月以降も継続
- ・2018年度の委員会実施会場⇒提供頂けるメンバー会員様は連絡をお願いします。
- ・2018年度業務委員会副委員長の選出について⇒4月総会には決定したい。立候補者がなければ指名にて選出。
- ・東海電子、杉本様より飲酒運転、事故等の統計についての報告。

以上